

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和 2年 1月23日

計画の名称	地域と連携した河川環境の創出		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	埼玉県
計画の目標			

埼玉県では、清流ルネッサンスⅡによる水環境の改善に取り組んできたが、清流ルネッサンスⅡ終了後も更なる水環境の改善に向け、引き続き、地域や関係機関と連携して水環境の改善や維持に取り組んでいる。また、伝右川では、草加市のまちづくりと一体となった良好な水辺空間の創出に取り組んでいる。このようなことから、地域と連携した河川環境整備を実施することにより、良好な河川環境（水質や生活空間等）を創出する。

計画の成果目標（定量的指標）			
----------------	--	--	--

- ①清流ルネッサンスⅡの対象河川において、良好な河川環境の維持及び更なる改善を図るため、一般的な水質指標の1つであるBOD値を環境基準値以下に改善もしくは維持する。
- ②埼玉県内の市街地を流れる河川（鴨川）を対象として、底泥のしゅんせつによる河川環境の改善を行うことで、一般的な水質指標の1つであるBOD値を環境基準値以下とする。
- ③埼玉県内の市街地を流れる河川（伝右川）を対象として、管理用通路等の整備を行い、川に親しむ生活空間の改善を図ることで、水辺を散策しやすいと思う人の割合を増やす。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H25)	中間目標値	最終目標値 (H29末)	
①BOD75%値を環境基準値以下とする。【芝川（八丁橋）】	4.7mg/L	—	5.0mg/L以下	
①BOD75%値を環境基準値以下とする。【不老川（不老橋）】	5.3mg/L	—	5.0mg/L以下	
①BOD75%値を環境基準値以下とする。【元小山川（本庄妻沼線交差点）】	5.6mg/L	—	3.0mg/L以下	
②BOD75%値を環境基準値以下とする。【鴨川（中土手橋）】	4.4mg/L	—	5.0mg/L以下	
③水辺を散策しやすいと思う人の割合を増やす。【伝右川】	10%	—	50%	

拠点施設・重点地区			
-----------	--	--	--

全体事業費（計画） （百万円）	合計 (A+B+C)	4,816百万円	A	4,816百万円	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	—
--------------------	---------------	----------	---	----------	---	---	---	---	---------------------------	---

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
事業主体にて評価を実施し、その結果を県土整備部公共事業評価検討会議に報告し参考意見を聴取する。	令和2年1月
	公表の方法
	埼玉県県土整備部河川砂防課のホームページに掲載

1. 交付対象事業の実施状況

交付対象事業																		
A 河川事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（実施） （百万円）	事業進捗	備考
											H27	H28	H29	H30	R1			
2-A-1	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	荒川圏域総合流域防災事業（芝川）	底泥のしゅんせつ、水質モニタリング	さいたま市、川口市、桶川市、上尾市						88	○	完了
2-A-2	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	新河岸川圏域総合流域防災事業（不老川）	生態系モニタリング、水質モニタリング、低水路工	狭山市、川越市、入間市、所沢市						55	○	完了
2-A-3	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	利根川圏域総合流域防災事業（元小山川）	底泥のしゅんせつ、導水施設等	本庄市、上里町、深谷市						40	○	完了
2-A-4	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	統合河川環境整備事業（鴨川）	底泥のしゅんせつ	さいたま市						507	○	完了
2-A-5	河川	一般	埼玉県	直接	—	環境1	—	統合河川環境整備事業（伝右川）	管理用通路の整備	草加市						212	○	完了
小計（河川事業）											902							
合計											902							

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (実施) (百万円)	事業進捗	備考
										H27	H28	H29	H30	R1			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (実施) (百万円)	事業進捗	備考
										H27	H28	H29	H30	R1			
合計																	
番号															備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		芝川、不老川、鴨川においてはBOD75値が最終目標値以下となり、良好な河川環境の維持及び改善が図られた。 伝右川においては川沿いに管理用通路（遊歩道）を整備したことで、水辺を散策しやすいと思う人の割合が増加し、草加市のまちづくりと一体となった良好な水辺空間が創出された。			
II 定量的指標の達成状況	指標①【芝川】 BOD75値	最終目標値	5.0mg/L以下	目標値と実績値 に差が出た要因	関係市との連携により、目標が達成された。
		最終実績値	4.7mg/L		
	指標①【不老川】 BOD75値	最終目標値	5.0mg/L以下	目標値と実績値 に差が出た要因	関係市との連携により、目標が達成された。
		最終実績値	4.1mg/L		
	指標①【元小山川】 BOD75値	最終目標値	3.0mg/L以下	目標値と実績値 に差が出た要因	元小山川は流量が少ないため、御陣場川からの導水により維持流量を確保している河川である。しかし、導水元の御陣場川の水質が悪かったため、目標値と実績値に差が出ている。
		最終実績値	5.2mg/L		
	指標②【鴨川】 BOD75値	最終目標値	5.0mg/L以下	目標値と実績値 に差が出た要因	関係市との連携により、目標が達成された。
		最終実績値	4.3mg/L		
	指標③【伝右川】 水辺を散策しやすいと思う人の割合	最終目標値	50%	目標値と実績値 に差が出た要因	管理用通路（遊歩道）整備が完了した直後にアンケート調査を実施したため、整備の効果を感じている回答者が少なかった可能性がある。
		最終実績値	37%		
3. 特記事項 (今後の方針)					
元小山川については、引き続き、関係機関と連携しながら、水質改善に努めていく。 伝右川については、現在、市、住民及びUR等と協力して散策マップの作成やウォーキングイベントの開催に向けて取り組んでおり、引き続き、管理用通路（遊歩道）の周知及び利用促進に努めていく。 また、次期計画である「地域と連携した河川環境の創出」にて水環境の改善やまちづくりと一体となった良好な水辺空間の創出に取り組んでいく。					

# 事業箇所図

計画の名称	地域と連携した河川環境の創出		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	埼玉県

